



CONTENTS

■平成26年度スポーツ振興支援事業・地域振興支援事業贈呈式が開催された
■先輩からの便り紹介

■奨学生の声紹介
■奨学生の年度別・出身高等学校別進学先
■平成27年度奨学生募集

シリーズ 第19回

この本をあなたにも薦めたい
『大河の一滴』 五木寛之 (著)

平成26年度スポーツ振興支援事業・地域振興支援事業贈呈式

高校部活動 3,586万円 地域振興支援事業にも



奨学会は、去る7月11日、多治見市東町のセラミックパークMINOで、平成26年度の贈呈式を行った。奨学会は平成11年設立後、積極的な活動をしている高等学校の運動部を対象に、毎年部活動費の贈呈を実施してきたが、一昨年度より地域振興支援事業の一環として、高等学校文科系部活動への支援を開始。

贈呈式には来賓として岐阜県教育委員会松川禮子教育長をはじめ被支援校の部活動顧問、部長、監督など学校関係者ら併せて約70人が参加。伊藤理事長より各団体に目録を手渡した。

最後に、被支援団体を代表して恵那高等学校の鎌田嘉彦校長よりお礼の言葉があった。

伊藤青少年育成奨学会設立からの事業費の実績 (平成12年度～)

単位：千円

年度	奨学金	スポーツ	国際交流	その他 (伊藤喜美賞を含む)	合計
平成12年度	4,800	13,100	3,000	—	20,900
平成13年度	9,600	10,700	3,000	500	23,800
平成14年度	21,600	6,100	3,000	200	30,900
平成15年度	28,800	10,000	3,000	200	42,000
平成16年度	25,200	10,000	13,000	1,300	49,500
平成17年度	26,280	11,500	3,000	4,000	44,780
平成18年度	31,080	10,400	3,000	3,000	47,480
平成19年度	35,040	11,300	—	—	46,340
平成20年度	37,380	13,310	1,500	2,000	54,190
平成21年度	37,080	8,700	—	7,000	52,780
平成22年度	39,600	12,800	—	1,000	53,400
小計	296,460	117,910	32,500	19,200	466,070

●平成23年4月1日から公益財団法人となりました

年度	奨学金支給事業	スポーツ振興支援事業	地域振興支援事業	合計
23	39,600	13,100	2,000	54,700
24	39,240	12,400	14,110	65,750
25	42,300	13,930	13,887	70,117
26(見込み)	43,200	18,290	17,575	79,065
合計(設立から)	460,800	175,630	99,272	735,702

●恵那市中央図書館～伊藤文庫～について

当財団は、平成19年度事業として上記事業のほか恵那市へ図書館(※)を寄贈しました。同時に23,000冊の書籍、運営費等1,500万円の寄贈を行いました。

※鉄筋コンクリート2階建て、延床面積2,652㎡(総事業費10億円)

平成26年度(公財)伊藤青少年育成奨学会 スポーツ振興支援事業・地域振興支援事業 被支援団体

①スポーツ振興支援事業(県内の高校・特別支援学校運動部およびスポーツイベントへの助成)

学校名	部名	金額(円)
岐阜総合学園高等学校	卓球	1,000,000
	陸上競技	800,000
	硬式野球	336,000
県立岐阜商業高等学校	陸上競技	1,000,000
岐阜工業高等学校	ボクシング	1,000,000
岐阜工業高等学校(定時制)	バドミントン	520,000
各務原養護学校	バレーボール	450,000
大垣北高等学校	サッカー	240,000
大垣商業高等学校	弓道	870,000
大垣工業高等学校	サッカー	1,000,000
関有知高等学校	硬式野球	950,000
関高等学校	硬式野球	800,000
関商工高等学校	弓道	610,000
	硬式野球	600,000
可茂特別支援学校	サッカー	280,000
東濃特別支援学校	サッカー	516,240
恵那高等学校	ボート	1,000,000
恵那農業高等学校	スケート	390,000
中津川工業高等学校	硬式野球	896,400
益田清風高等学校	女子バレーボール	970,000
下呂特別支援学校	サッカー	300,000
岐阜東高等学校	ハンドボール	432,000
	バドミントン	348,000
岐阜第一高等学校	スキー	540,000
多治見西高等学校	弓道	432,000
東海四県高体連剣道専門部(東海高等学校剣道選抜大会)		1,000,000
第53回全国学校体育研究大会(第53回全国学校体育研究大会岐阜大会)		500,000
美濃加茂市陸上競技協会(各種競技大会)		410,000
恵那市陸上競技協会(陸上競技記録会)		100,000
合計(20校・25運動部+4スポーツイベント)		18,290,640

②地域振興支援事業(県内の高校・特別支援学校文化系部および団体への助成)

学校名	部名	金額(円)
岐阜高等学校	自然科学	970,000
	吹奏楽	840,000
加納高等学校	吹奏楽	390,000
岐阜総合学園高等学校	吹奏楽	1,000,000
	書道	270,000
岐阜城北高等学校	吹奏楽	400,000
本巣松陽高等学校	吹奏楽	690,000
羽島高等学校	吹奏楽	660,000
岐阜工業高等学校	吹奏楽	650,000
池田高等学校	吹奏楽	460,000
大垣北高等学校	音楽(吹奏楽)	980,000
大垣西高等学校	和太鼓	940,000
大垣養老高等学校	吹奏楽	820,000
大垣商業高等学校	吹奏楽	920,000
武義高等学校	吹奏楽	400,000
関有知高等学校	吹奏楽	750,000
関商工高等学校	吹奏楽	536,000
加茂高等学校	吹奏楽	999,000
多治見工業高等学校	吹奏楽	500,000
坂下高等学校	ギター・マンドリン	900,000
中津川工業高等学校	吹奏楽	1,000,000
飛騨神岡高等学校	吹奏楽	400,000
多治見西高等学校	箏曲	300,000
麗澤瑞浪高等学校	吹奏楽	600,000
城南高等学校	製菓	200,000
iGEM Gifu(世界大会iGEMへの参加)		1,000,000
合計(23校・25文化系部+1地域振興イベント)		17,575,000

立部 有吾一橋大学商学部
経営学科卒
(関高校卒)**ビジネスの世界でも「挑戦すること」を座右の銘とし、
幅広い分野で活躍できる財務のスペシャリストを目指したい。**

大学生も残すところ1ヶ月となった。あっという間に過ぎていったこの4年間を振り返ると、上京、一人暮らし、フットサルサークル、フリーペーパーの発行、アルバイト、ゼミナール活動、就職活動、卒業論文、旅行などのキーワードが思い浮かぶ。私はこれらの経験から、「挑戦し続けることの大切さ」を再認識し、「自分の興味関心を掘り下げ、それに基づいたキャリア（進路）」を手に入れた。この2点について書こうと思う。

私の座右の銘は「挑戦」である。毎日毎日何かに挑戦している訳ではないが、大学受験をはじめとして節目で重大な決断を迫られることは誰にでもあり、そういった大きな意思決定では、努力しないと叶わないような選択をするようにしている。大学受験で上京を選択したことは大きな挑戦であったし、フリーペーパー発行の経験では、編集長として協賛企業との渉外を行ったり、団体の舵取りも行った。現状に甘んじず、意識して挑戦することで、結果如何に関わらず、自己の成長につながると思う。私の場合、大学受験もフリーペーパーの発行も成功し、それが自信となっている。大学生は本当に自由である。大学へ授業を受けに行くかどうかも自分で決める

ことができる。自由であるが故に受動的では何も経験できず、積極的に自ら動くことで初めて世界が動き始めると思う。私の恩師の言葉だが、「ChanceはChangeの中にある。」の通り、変化があったり、起こしたりすることで、人生はより豊かになると思う。

大学に入る前は、特定の分野に強烈な興味がある訳ではなかった。商学部でビジネス・会計・経営について学んでいく中で、自分が企業のお金の流れに興味を持っていることに気付いた。特に企業の投資行動に興味を持ち、コーポレートファイナンスのゼミナールに所属し、多くの企業のケーススタディーを行った。将来の仕事を決める上でも、財務の観点から企業の経営に携りたいと考え、金融中心に就職活動を進めた。最終的に進路は商社となったが、商社のコーポレート部門の財務担当として事業投資に関わっていきたいと思う。商社は自社がその商流に巻き込まれながら、投資を行っている。そのビジネスは多岐にわたっており、財務の観点はどのビジネスにも必要である。財務のスペシャリストとなることで、多種多様なビジネスに関わり、挑戦する心を忘れず、ビジネスの世界で活躍していこうと考えている。

**4月からは念願の裁判所職員へ。努力を惜しまないこと、相手の立場に
応じて行動することを大切に、事案解決をサポートしていきたい。****山田 麻里子**金沢大学人間社会
学域法学類卒
(岐阜北高校卒)

私は、学生時代、法律相談サークルに所属し、一般の方を対象とした民事の無料法律相談を行ってきました。法律相談所での活動を通して、

私は成長することができました。

法律相談を初めて受けた時、私は、相談の解決策やアドバイスを導き出すのに時間がかかった上、それを相談者にうまく伝えることができませんでした。私が調べ物をしてなかなか解決策を導き出せないでいる姿を見て、相談者は不安げな表情をしていました。原因は、知識不足と、相談者とのコミュニケーションの取り方にありました。そこで私は、事前に教科書や勉強会で利用した資料を用いて、相談に必要な知識を身に着けることに努めました。また、過去の相談事例を振り返りながら、解決策の伝え方を改善しました。法律の知識を持っていない相談者にも解決策を理解してもらうためには、まず事実関係を整理し、次に法律の内容を説明した上で、最後に事実のあてはめをするというように、段階を踏んで説明することが有効でした。特に、法律の内容を説明する際には、専門用語を平易な言葉に言い換える必要がありました。そのためには、私自身が法律の内容を正確に理解しておく必要があり、その点に留意しながら知識の定着に努めました。そして、実際に相談を受ける回数を重ねるうちに、私自身が心に余裕

を持って相談者に接することができるようになりました。その結果、最後に「ありがとう」「助かったよ」と言って笑顔でお帰りいただける相談者が増え、達成感や充実感を感じることができました。

しかし、相談者の中には、複数の機関に相談してもトラブルを解決することができなかった人や、調停や訴訟に発展するようなトラブルに遭い、不安を抱いている人もいました。また、専門的な知識を必要とし、私たちの力では解決策を導くことができない場合もありました。私は、紛争の解決には裁判所の関与が不可欠な場合があることを実感しました。そこで、裁判所職員として円滑・迅速な紛争解決を支える一員になりたいと思うようになりました。

4月から裁判所事務官として勤務します。訴訟手続きに関する知識を身に付けると共に、手続きを正確かつ迅速に行うことで、裁判の円滑な進行に貢献したいと思います。また、裁判所に来られた方に丁寧に対応し、不明な点がある方には、分かりやすい説明を心がけることで、安心して手続きを進めてもらえるようサポートしたいと考えています。法律相談所での活動を通して学んだ、努力を惜しまないこと、相手の立場に応じて行動することの大切さを忘れずに働いていきたいと思っています。

杉本 真弥

信州大学
理学部化学科 4年
(恵那高卒)

**大学生生活最後の一年は、次代へ
つなげる研究成果を残すこと。
教員採用試験に合格すること。**

3月初旬にあった進級認定会議の結果、無事進級が認定され卒業研究への着手が許可されました。

私は配属会議の結果、無事第1希望であった石川厚先生の無機化学研究室 石川研究室に配属されました。早速石川先生と卒業研究の内容について面談をしました。その結果私の卒論テーマは“アンモニア型ゼオライトを用いた6LTの濃縮手法”に決まりました。このテーマは石川研が長年取り組んでいるテーマであり先輩方のやってきたものを私が引き継ぎ、さらなる手法の構築を目指すものです。この手法を確立させることができれば今問題となっている放射能汚染への問題解決の糸口と

なるものなので身が引き締まる思いです。

7月にひかえる岐阜県教員採用試験に向けても昨年10月から取り組んでおり、附属中学校への実習や近隣中学校への学習支援ボランティアなど現場で実践をつまらせて頂ける環境に感謝しています。試験本番まで卒論と教授の2足のわらじとなりますが、後悔だけはしない様全力で取り組みます。大学で3年間学んだ私にはこれが実践できるという自信があります。来年の春に笑顔でいられる様今やらないでいつやるのか?という思いで頑張る所です。

奨学会からのコメント 卒論テーマ「6LTの濃縮手法」、放射能汚染への問題解決の糸口となってもそれからまだ時間がかかるのでしょね。石川研究室ガンバレ。教員試験に合格した暁には、教員たちにそういう放射能に対する地道な取り組みが、各方面で継続されていると教えてほしい。それも日本人の美質を伝える大切な役割だと思えます。

武藤 敏之

中央大学
法学部法律学科 4年
(岐阜高卒)

**いよいよ、法科大学院受験へ。
これまでの成果を励みに、
合格を目指します。**

法科大学院受験に向けての勉強を継続しています。3年生の後期からは、授業のコマ数が減り空き時間が多くなったため、その時間を自習及び自主ゼミにあてています。自習においてはアウトプットを中心に据え、論文及び択一の問題を解き、自主ゼミにおいて、解いた論文問題について検討会を行っています。自主ゼミで意見交換をすることにより、ひとりよがりになることを防ぎ、また、自分の理解が浅かったり誤っていたりした部分が浮き彫りとなり、より正確な知識をつけることができていると感じています。また、議論するためには、大前提から論理を追って話す必要があるため、理解の上でも、論理的思考力を鍛えるトレーニ

ングにもなっていると感じております。

まだまだ、理解においても、それを表現し、伝えることにおいても不十分な点が多々ありますが、昨年11月に受けた法学検定試験アドバンスコース及び行政書士試験にともに合格することができ、少しずつ成果が出てきていることを実感しています。

困難なことも多いですが、成果が出ていることを励みに、初志貫徹できるように、コツコツと努力を継続し、夢に向かって突き進んでいきたいと考えています。

奨学会からのコメント 機会あって、ある法学者の半生記を読みました。学生時代の自主ゼミで判例を読み意見交換をするうち、それまでの通説に穴があるのに気付く。それを恩師に伝えると「もう私の本は読むな。××の本を読みなさい」というくだりに感動しました。精神の柔軟な今、よい師よい友に巡り合い、切磋琢磨できることを祈っています。

佐藤 明

名古屋大学
経済学部経営学科 3年
(大垣商業高卒)

**新しいことに挑戦できる今が楽しい。
恵まれた環境に感謝し、資格
試験合格と管理会計の勉強を究め
たい。**

大学生生活も3年目に突入り、卒論演習にかかわるゼミがスタートしました。私の所属しているゼミは管理会計をテーマとし、先日その初回が行われました。管理会計は1920年、シカゴ大学のマッキンゼー氏がビジネススクールでビジネスマンに教示しゼネラル・モーターズ社をはじめとする企業が経営に取り入れたことから始まりました。古代ローマ時代から存在したといわれる財務会計に比べ、歴史は浅いですが、現代における管理会計の役割は大きく変わっています。1920年当時は「会計」を中心とした学問で、より良い計算技法、経営分析方法が模索されていました。しかし、いかに優れた指標でも経営者の恣意的な投資・運用に

よって企業本来の成長が妨げられてしまっは意味がありません。そのため、現代においては成熟した管理会計システムをどのように経営に活用していくか、というマネジメント面を追究していくことが必要です。ゼミでは前期に管理会計の基礎やアメリカ経営についての知識を固め夏休み以降の実習に備えます。後期からは地元中小企業との共同研究、ハノイ貿易大学、一橋、神戸大学との交流発表が予定されています。また、税理士事務所での実践的な会計に触れる機会もあります。この恵まれた環境で、常に探究心をもって行動し管理会計を究めていきたいと思えます。

奨学会からのコメント バブルの時代はメセナの声が喧しく、最近では社会貢献一点張り。一貫した倫理哲学を育てるには企業はいかにすべきか。また、この失われた20年、コンサルタント、アナリストは企業利益の最適化をお題目のように言い、失われたガラパゴス技術が多くある。どんな会計システムでも数字を読み解くのに倫理哲学が必要です。

森本 美穂

名古屋市立大学
看護学部看護学科 2年
(多治見北高卒)

**看護について、自分自身について
深く考える機会となった看護実習。
看護師を目指し、さらに努力
していきたい。**

大学1年生前期では主に教養科目でしたが、後期からは専門科目が増え、講義だけでなく実技の授業もありました。講義では人体の機能や構造、病気の症状や治療法などを学習し、実技では脈や血圧などのバイタルサインの測定や、体位変換、シーツ交換など基礎看護技術を学びました。手技は実際に患者さんに関わることなので、難しくても練習を積み重ね自分のものにするまでまだまだ努力が必要です。

春休みには1週間の看護実習があり、初めて1人の患者さんを受け持ち、勉強させて頂きました。1年生では援助するというよりも、コミュニケーションを通して“よりよい援助の関係を構築するのに大切なこと”を見出すことが目的でした。しかし、ただ会話を行うことだけでも、患者さんの状態を観察して、いつ、どれくらいの時間、どんな内容の話

をするかなど考えるべき点が多くコミュニケーションの難しさに日々悩んでいました。そこでプロセスレコードという、会話の一場面を紙に書きおこし、患者さんの言葉や表情から相手の思いを正しく読み取れたか、またそれに対する自分の言動は適切であったか振り返るものを毎日行うことで、自分の性格やくせ、その時の自分の精神状態を分析することができ、自分の無力さや悪い点が明らかになり、今後どうすべきか考えるきっかけになりました。この実習で学んだこと、感じたことが大きすぎて、ショックを受けることもありましたが、“看護”や“自分”について考えることができたので、2年生の夏休みにある2週間の実習に活かしていきたいと思えます。今後、心が折れることがあっても看護師になりたいという思いを忘れず、日々勉学に励んでいきたいです。

奨学会からのコメント プロセスレコードには感心しました。こうして状況や自分自身を客観視する訓練ですね。それは現場のコミュニケーションのみならず、これからの人生そのものを豊かにしてくれるということです。



『大河の一滴』
五木寛之（著）
出版社：幻冬舎文庫

『大河の一滴』

五木寛之（著）

私が、この本を薦める理由は、私達は、人生について考えることもありますし、大きな壁にも突き当たります。

そして、どう生きたらいいか、どう考えたらいいか、迷い悩みます。この本は、そんな悩みにひとすじの光を与えてくれます。

本の中に私達の判断に、「あれか、これがの選択ではなく、あれもこれも人生に大切なこととして、抱え込んだら」という一文があります。まさに光があれば、影があり、ブラ

スがあればマイナスもある。生があれば必ず死がある。人間の生命の本質は、これら両極のものが、混ざりあったところにあるということを確認、抱えこんで生じる混沌をも認め、もう少しいいかげんになることが必要だとあります。

私達を取り巻く、政治・経済・教育・宗教にいたるまで、今時代は混沌としています。軽々しく他人の命を奪う。私達は、戦争に勝るとも劣らない死と隣りあわせの時代に生きていっているのではないか。そんな不安に襲われた時、著者は、私達の生は、大河の流れの一滴にすぎず、しかも無数の他の一滴たちと共に

大きな流れをなして、確実に海へ下っていく。といます。

人間は、ちっぽけな存在であります。それがどれ程小さくとも、草の葉の上の一滴の露にも、大地の生命は宿り、私達は、それぞれの一生という水滴の旅を終えて、やがて海に還る。そして、太陽の光に熱せられ、海水は、蒸発して雲となり、ふたたび雨水となって地上に注ぐ。そんな生命の循環に触れた時、私達の悩み、苦しみは、いかにちっぽけなものだろうと感ずるのであります。

こんな考え方がもてる本である。私から推薦します。

奨学生の年度別、出身高等学校別進学先（単位：人）

出身高等学校	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
岐阜	中央大 岐阜大(2人) 東京外国語大 早稲田大	京都大 東京工業大 岐阜大	中央大 東京工業大 名古屋市立大 高知大	北海道大学 名古屋市立大学 大阪大学 自治医科大学 名古屋大学	17
岐阜北	—	—	—	南山大学 筑波大学	2
加納	—	名古屋大	名古屋大	岐阜大学	3
長良	—	愛知教育大	—	—	1
岐山	岐阜大	—	神戸大	—	2
県立岐阜商業	中央大	—	中央大(2人)	愛知大学 中央大学(2人) 三重大学	7
各務原西	—	—	岐阜大	—	1
岐阜農林	—	日本福祉大 筑波大	—	—	2
岐阜女子	—	奈良女子大	—	—	1
大垣北	大阪府立大 富山大	名古屋大 京都大	静岡大 京都大(2人) 青山学院大	大阪大学 岐阜大学	10
大垣東	—	—	同志社大	—	1
大垣南	—	—	—	岐阜大学	1
大垣西	—	—	—	三重大学	1
大垣商業	—	名古屋大	—	東京理科大学	2
武義	愛知教育大	—	静岡大	—	2
関	慶応義塾大	京都教育大	—	名古屋市立大学	3
関商工	—	—	愛知大	富山大学	2
美濃加茂	東京大	—	—	—	1
加茂	お茶の水女子大	—	千葉大	—	2
可児	—	名古屋大 岐阜大 大阪大	豊田工業大 名古屋工業大	—	5
多治見北	横浜国立大	愛知県立大 早稲田大 信州大	名古屋市立大 京都大 中央大 京都府立大	早稲田大学	9
多治見	筑波大	—	—	—	1
恵那	大阪大 岐阜大 信州大(2人) 名古屋大	大阪大 名古屋大(2人)	高崎経済大 岐阜大(2人) 名古屋大 筑波大	富山大学 名古屋大学 南山大学	16
恵那農業	名城大	—	慶應義塾大	中部大学	3
中津	岐阜大富山大	三重大	—	—	3
中津商業	—	—	中京大	—	1
斐太	—	—	日本福祉大 新潟大	—	2
飛騨高山	—	—	—	東京農業大学	1
益田清風	—	名古屋大	—	—	1
聖徳学園	—	—	—	早稲田大学	1
多治見西	—	—	—	愛知県立大学	1
中京	—	—	京都大	日本大学 富山大学	3
麗澤瑞浪	東京外国語大	—	—	鈴鹿医療科学大学	2
一宮興道	名古屋大	—	—	—	1
菊里	—	愛知県立芸術大	—	東京芸術大学	2
藤枝明誠	—	同志社大	—	—	1
春日丘	—	—	—	慶応義塾大学	1
聖霊	—	—	—	横浜市立大学	1
愛工大名電	—	—	—	同志社大学	1
合計	25	25	33	34	117

平成27年度 奨学生募集中!

奨学金を通じて、本気で学びたい人を応援します

■選考の流れ

- 平成26年12月末日 高等学校を通じて、または直接郵便にて奨学会へ申請書を提出
- ▼
- 平成27年1月下旬 一次選考（書類審査）
- ▼
- 平成27年2月上旬 結果を通知
- ▼
- 平成27年3月20日頃 二次選考（面接）
- ▼
- 平成27年4月初旬 選考された方への通知

■支給金額・支給方法

支給月額 30,000円（自宅通学・自宅外通学とも）
※返還の必要はありません
支給期間 最長4年（平成27年4月～）但し医学部生は6年
振込日 4、5、6、7、8、9月分 6月中旬
10、11、12、1、2、3月分 12月中旬

■募集人員

大学生 30名程度（短期大学生を除く）

■応募資格

1. 新1年生であること
（平成27年4月 四年制大学へ入学される方）
 2. 岐阜県出身または県内在住の方
 3. 人物、学力ともに優れていること
 4. 経済的理由により修学が困難であること
- 提出書類、選考基準等につきましては当財団ホームページ、事務局又は高等学校へお尋ね下さい。